

PRIMERGY TX1310 M3 ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY TX1310 M3 に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2023 年 10 月
富士通株式会社

1. Intel TXT 機能について

本装置では、ハードウェア上でハイパーバイザーを直接稼働させる仮想環境（Windows Hyper-V など）において、Intel® TXT 機能（インテル®トラステッド・エクゼキューション・テクノロジー）をご使用になれません。

2. SR-IOV 機能について

本装置では、Single Root I/O Virtualization（PCI デバイス側で仮想化をサポートする規格）をご使用になれません。

3. BIOS モードについて

本装置では、BIOS のデフォルト設定は UEFI モード設定です。

Advanced- CSM Configuration

設定項目	設定値
Launch CSM	Disabled

4. BIOS オフラインアップデートについて

BIOS オフラインアップデートツールを使用時には BIOS 設定を BIOS(Legacy)モードに一時設定を変更の上、オフラインアップデートツールを実行ください。

Advanced - CSM Configuration の設定項目について下記設定値に設定ください。

設定項目	設定値
Launch CSM	Enabled
Boot option filter	Legacy only
Launch PXE OpROM Policy	Legacy only
Launch Storage OpROM policy	Legacy only
Other PCI device ROM Policy	Legacy only

5. オンボードグラフィックスについて

Windows Server 2016/2012/2012 R2、Red Hat Enterprise Linux 7 にてオンボードグラフィックスをご使用の場合、下記表示例のように解像度が固定され、解像度の設定変更ができません。

- ・Windows Server 2016/2012/2012 R2 の場合：ご使用のディスプレイの最大解像度に固定されます。
- ・Red Hat Enterprise Linux 7 の場合：1024x768 に固定されます。

固定された解像度にてご使用ください。

表示例) Windows Server 2016

(コントロールパネル - デスクトップのカスタマイズ - ディスプレイ - ディスプレイの設定変更 - ディスプレイの詳細設定)



Windows Server 2016 については Intel OEM ドライバのリリースが予定されており、ドライバを適用することで設定変更が可能になる予定です。

解像度の変更をご希望の場合、下記ダウンロードページより Intel 提供のドライバをダウンロードの上、ドライバを適用ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

※Windows Server 2012/2012 R2、Red Hat Enterprise Linux 7 については Intel 提供のドライバのリリース予定がないため、恒久的制限となります。

6. コンソールリダイレクションについて

BIOS セットアップ画面にて Advanced - CSM configuration の Launch CSM を Enabled に設定し、シリアルケーブル接続でのコンソールリダイレクションをご使用の場合、サーバ起動時(POST 実行中)に「F2」キー入力で BIOS セットアップ画面を開くことができません。

コンソールリダイレクションをご使用の場合は、BIOS 版数 R1.9.0 以降を適用してください。

BIOS 版数 R1.7.0 以前をご使用の場合は、本体装置に接続されたキーボードにて「F2」を押し、BIOS セットアップ画面を開いてください。

7. 「アップグレード&メンテナンスマニュアル」の補足事項について

【12.3.1.2 ダミーカバーベイ 2 の取り外し】手順については、下記を参照ください。

ベイ 2 を取り付ける場合は、ダミーカバーとメタルベイカバーを取り外す必要があります。



注意

メタルベイカバーは取り付け直すことはできません。該当する EMC 指令に準拠し、かつ冷却要件を満たすために、RDX ドライブを取り付ける場合のみ、メタルベイカバーを取り外してください。

＞フロントカバーを取り外します（50 ページの「フロントカバーの取り外し」の項を参照）。



図 96: ダミーカバーベイ 2 の取り外し

＞フロントカバー背面から、ベイ 2 のダミーカバーを押します。



図 97: ベイ 2 のメタルベイカバーのポイントの固定

＞ニッパを使用してメタルベイカバーにある 3 つの固定ポイントを切ります。

＞メタルベイカバーを取り外します。

EMC 指令を準拠するために、下記 3 箇所にガスケットを追加します。

- i** ガスケットがバックアップドライブオプションキットの中に含まれている場合は、ガスケットを取り付けてください。
ガスケットを貼り付ける前に、板金表面を清掃してください。
決められた位置にガスケットを貼り付ける直前に、接着テープの保護フィルムを外します。



図 98 : ベイ 2 前面下側

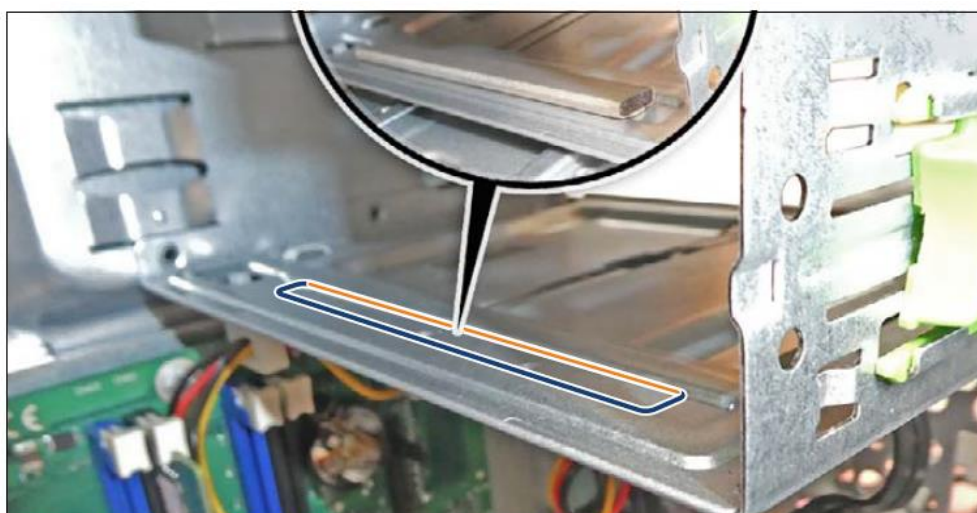


図 99: ベイ 2 背面下側

> ベイ 2 の前面下側(図 98 参照)および背面下側(図 99 参照)にガスケット(90mm)を追加します。

- i** 背面用ガスケットを端(オレンジ線参照)に合わせます。

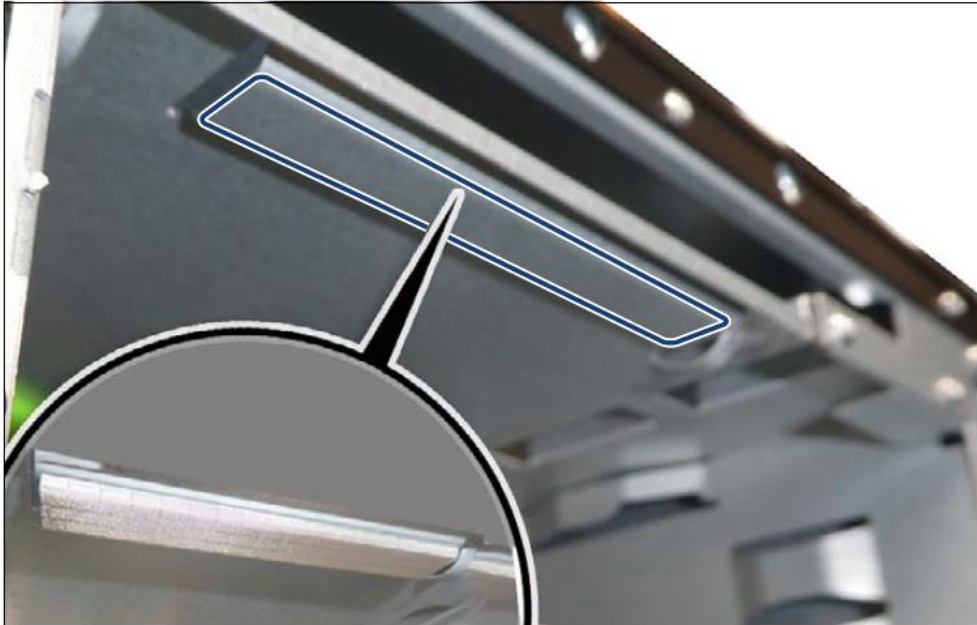


図 100:ベイ 2 前面上側

- ＞ベイ 2 の前面上側(図 100 参照)にガスケット(70mm)を追加します。
- ＞フロントカバーを取り付けます(51 ページの「フロントカバーの取り付け」の項を参照)。

8. グラフィックスカード(PY-VG301/PYBVG301)のご使用について

サーバ本体の BIOS1.7.0 とグラフィックスカード(PY-VG301/PYBVG301)との組み合わせで
ご使用になれません。

※本組み合わせでグラフィックスカードを搭載した場合、下記の ERROR CODE が SMBIOS イベント
ログ(SEL)に記録されます。

00120035 CRITICAL PCI System Error

グラフィックスカードをサポートした BIOS1.9.0 が公開されていますので、最新の BIOS 適用をお
願います。

9. セキュリティチップ(PY*TPM03/PY*TPM05)ご使用上の留意について

セキュリティチップ(PY*TPM03/PY*TPM05)をご使用する場合には、BIOS 版数 R1.11.0 以降を適用
してください。

10. UEFI モードについて

UEFI モードの設定方法や OS 及びオプションのサポート状況に関しては、下記リンクをご参照く
ださい。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

11. Dual port LAN カード(10GBASE-T) [PY-LA3423/PYBLA3423]のご使用について

Dual port LAN カード(10GBASE-T) [PY-LA3423/PYBLA3423] 選択時は、メモリ最大搭載枚数は2枚となります。

12. インテル社のファームウェアに関する脆弱性 (INTEL-SA-00828 / CVE-2022-40982) について

INTEL-SA-00828 / CVE-2022-40982 に対応した BIOS R1.36.0 版以降へアップデートし脆弱性対策を実施した場合、処理性能への影響を示唆する記事がインテル社より公開されております。

その為、本脆弱性に対する対策を判断して頂く為の情報を以下に記載しておりますのでご参照ください。

重要なお知らせ : <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/note/page43.html>

— 以上 —